

- 1** 参加者接続 リスク管理機能

- 2** 媒介（マッチング）① クロージング・オークション

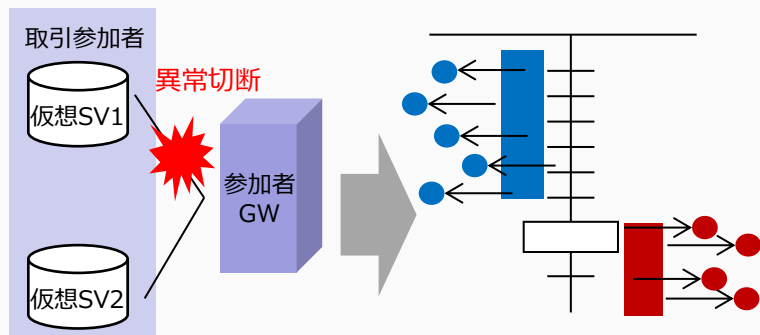
- 3** 媒介（マッチング）② 自己対当取引防止機能（STP）

- 4** 媒介（マッチング）③ マスキャンセル

- 5** 相場情報配信 FLEX Market by Order

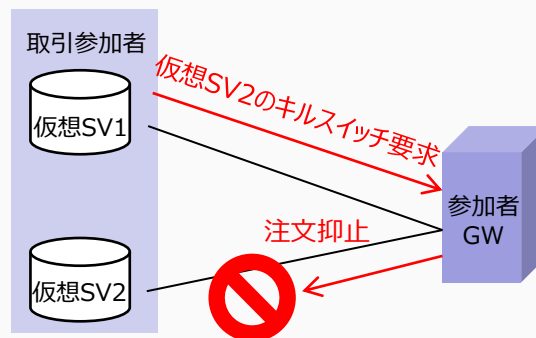
リスク管理機能

コネクション異常切断時注文取消機能 (キャンセル・オン・ディスコネクト)



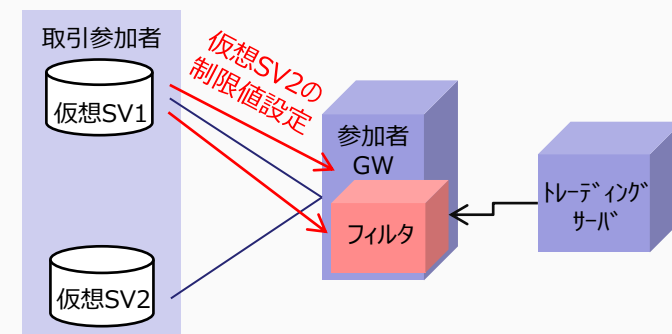
取引参加者が指定する仮想サーバがシステム障害等で異常切断した場合、当該サーバからの注文の自動取消が可能。

注文抑止・取消機能（キルスイッチ）



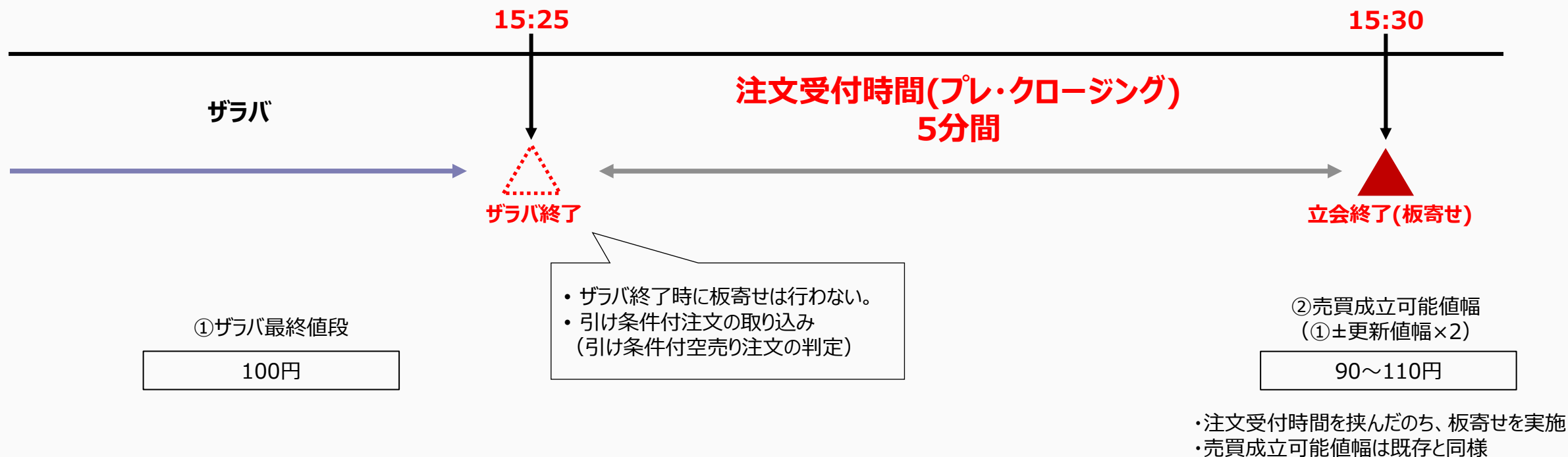
取引参加者からの指示により、指定した仮想サーバからの注文の抑止、及び自動取消が可能。本機能は仮想サーバグループ単位でも利用可能。

ユーザ設定型ハードリミット



あらかじめ取引参加者が注文代金等の閾値を設定し、異常注文の発注を制御することが可能。一注文あたりの代金、累計注文代金、累計約定代金の制御が可能（累計約定代金については、仮想サーバグループ単位でも計算可能）。

クロージング・オークション



取引時間延伸後の後場のザラバ取引の終了時（15時25分）から、5分間の注文受付時間（プレ・クロージング）を設けた後、15時30分に板寄せを実施。
クロージング・オークションによる板寄せでは、売買成立可能値幅の上下限で、約定処理を行う（特別約定）。

自己対当取引防止機能(STP; Self-Trade Prevention)

STP-O (Cancel Old)

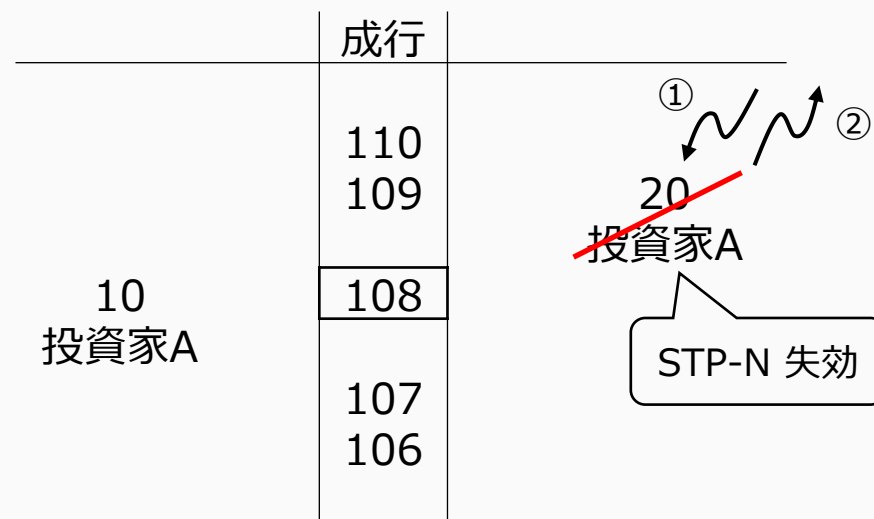
- 既に板登録されていた注文側を失効させる方式 -



- ①投資家Aが109円の買い注文20単位を発注
- ②108円の売り注文と対当するが、自身の注文とは約定せずに、108円の売り注文10単位が失効する。

STP-N (Cancel New)

- 新規に発注された注文側を失効させる方式 -



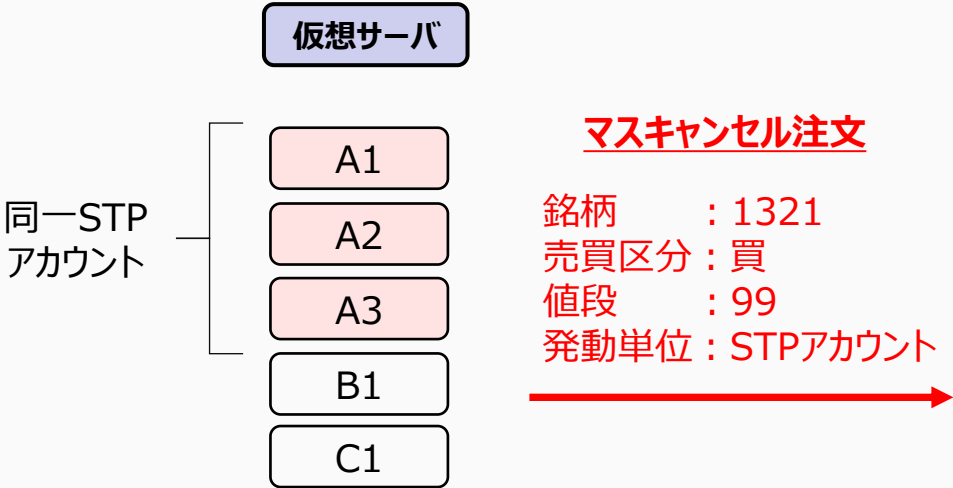
- ①投資家Aが109円の買い注文20単位を発注
- ②108円の売り注文と対当するが、自身の注文とは約定せずに、109円の買い注文20単位が失効する。

同一投資家同士の注文による約定を防止する機能。サーバに設定された投資家を識別する情報(STPアカウント)を参照し、同一の投資家の注文同士が対当した場合に発動。

※1 STPは、ザラバ約定方式による付合せ（同時呼値注文を除く）が対象

※2 STPの利用には「STPアカウント」の事前登録が必要となるため、機関投資家の利用を想定した機能

マスキャンセル



| 銘柄 : 1321 | | | | |
|-------------|-------------|-----|-------------|-------------|
| | 400 (A3) | 102 | | |
| 600 (C1) | 900 (A2) | 101 | | |
| | | 100 | 800 (A1) | 300 (B1) |
| | | 99 | 500 (C1) | 100 (A3) |
| | | 98 | 300 (A1) | 500 (A2) |
| | | | | 100 (B1) |

失効

失効

STPアカウント設定済の仮想サーバ利用者が、対象となる注文を一括で取り消すことが可能。
銘柄、売買区分、値段等を指定し、マスキャンセル注文を送信した仮想サーバと同一のSTPアカウント又は仮想サーバから発注された注文のうち、買いの場合は指定銘柄の指定値段以上を、売りの場合は指定銘柄の指定値段以下の注文を取り消し可能。

※1 STPアカウント単位の場合、取引参加者を跨って取り消される
※2 マスキャンセルは機関投資家の利用を想定した機能

FLEX Market by Order

| 売り注文 | 値段 | 買い注文 |
|------|------|--------------------------|
| 15 | 102円 | 買い注文10単位が新たに100円に発注された場合 |
| 5 | 101円 | |
| | 100円 | 10 20 10 |
| | 99円 | 10 |
| | 98円 | 20 5 |

Market by Order

| | 銘柄 | 売り買い | 値段 | 数量 | OrderID |
|------|------|------|------|--------|---------|
| 新規注文 | 8697 | 買い | 100円 | 1,000株 | XYZ002 |

※Order IDは銘柄単位で一意的な値となり、Order IDのみを用いて取引参加者や投資家を特定することはできない付番体系となる。

相場情報を注文単位で配信するMarket by Order型の相場情報サービス。
新規注文の情報として、注文の数量を含む注文単位の情報とともに、注文情報と相場情報を紐づけることを目的としたOrder IDを配信するため、従来の相場情報サービスと異なり、より詳細な板情報を把握することが可能。